



種名 ヒメマス

ヒメマスは、ベニザケが海に下らず一生を湖等の淡水で暮らすようになった魚です。

国内では、北海道の阿寒湖とチミケップ湖（網走川）だけに生息していましたが、1890 年代以降に青森県の十和田湖や栃木県の中禅寺湖等の日本各地に移植されました。病気やストレスに非常に弱く飼育が難しい魚ですが、サケの仲間の中でも特に美味しいとされています。

岩手県内水面水産技術センターでは長年の努力の末、1997 年にヒメマスの種苗生産に成功し、今では年間約5万尾の稚魚を生産しております。飼育が難しいのでまだ生産量は多くありませんが、毎年10月に開催される八幡平山賊祭りでは塩焼きヒメマスの販売が行われます。

なお、ヒメマスの購入については、岩手県内水面養殖漁業協同組合（TEL：0195-78-2086）にお問い合わせください。

展示しているのは、令和元年9～10月に採卵して育てた魚です。